

1・園の教育目標

1. 滝川幼稚園は、仏教精神(素直・仲良く・おもいやり)による保育を実践し、一人ひとりが健康で、友達と明るく仲良く生活でき 感性豊かな子どもに 育つことを目標としています。
2. 広々とした園庭で のびのびと遊び自然との関わりを大切にし 健康な身体と 豊かな感性をやしないます。
3. 自由保育を中心とし、年齢にふさわしい個々の育ちを大切に それぞれが自立する力を 育て生きる尊さを知らせます。

2・本年度に 定めた重点的に取り組む目標や計画

- ・一人ひとりの「こどもまんなか」をまもる質の高い幼児教育を
 ~社会全体でつむぎ未来へつなぐために~
- ・子どもや同僚と共に育つ保育者をめざす。(保育者自らの経験を基に多方面での学びを積み上げていく事で子どもの遊びや生活を深め充実させていく)

3. 評価項目の達成及び取組状況

| 評価項目 | 取組み状況 |
|--|---|
| 幼稚園教育要領をふまえ | 園の教育理念が日々の保育の中に 反映されるように計画をたて |
| 園の教育理念・教育方針に従い | 実践出来るように努力して取り組んでいる。 |
| 保育計画をしている。 | 教育要領をさらに深める事が、できる様に補助教材を用いて活用しているが、個人差があるので意識を高めていきたい。 |
| 教育要領・教育課程、子どもの実態などを もとに考えて作成している。 | 毎年の指導計画の見直し、学期ごとの反省を次に活かすことが出来るよう努めている。 |
| 子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。 | 日々の反省、学年チーフ会議、職員会議などで クラスの様子、保育の反省をし全職員が、子ども達の共通理解が出来るようにし 課題が生じれば、話し合い状況の改善に努める。 |
| 子ども達が、遊びを通して様々な事柄を体験し楽しめる広がりを持った保育が出来るようにしている。 | 子ども達が興味を持った遊びを発展し、年齢にふさわしい体験をできる様に努めている。子ども達の見取りをしっかりと行い その状況に似あった保育を進めていく様にする。 |
| 規則正しい生活習慣の定着に向けて指導を行う。 | 基本的な生活習慣は、日々の保育の中で衣服の着脱・うがい手洗い排泄は、もちろんの事、メリハリのある保育に心がけ、話を聞く時は、しっかりときける様けじめを持った生活に気を付けている。 |
| 園内研修をする。 | フレーベル館処遇改善Ⅱ適応のオンラインで 園内研修を行った。日々の反省の中で 研修となる事もある。 |
| 各研究会・研修会に積極的に参加し職員間で学び合う。 | リモート研修・対面での研修などできる限り参加できる研修には、参加した。 |
| 園だよりや 合同研修会を通して幼稚園の情報を発信していく。 | 園の方針や取組みは、園だよりやHP,FMで情報を発信している。 |

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

職員間でのコミュニケーションを さらに深め共有していく事で より一人ひとりの園児の育ちに細やかな配慮等ができるのでは、ないかと考えるので そこを 重点的に行っていきたい。
計画をしっかり立てる事で より合理的に仕事をスムーズにしていく事ができる。
子ども達に対し 細やかな保育に心がける努力をしている。

5. 今後取り組むべき課題

| | | | | | |
|------------|-----------------------------------|--|--|--|--|
| 特別支援教育 | インクルーシブをもとに支援の必要な園児の理解を図るとともに | | | | |
| | 健常児との関わり合いや支援の必要な園児が、自己充実感を味わう | | | | |
| | 保育の在り方を考える。 | | | | |
| | 関係期間との連携をとりながら 協力体制をとっていく。 | | | | |
| 幼保小連携 | 教育委員会主催の幼保小連携研究会に参加 | | | | |
| | 第三小学校訪問 | | | | |
| 保育指導計画の立て方 | 長期スパンでの計画を立て見通しを持って早めに計画実践を行うよう | | | | |
| | 心がけている。 | | | | |
| | 子ども達の遊びの様子を見極めて 遊びが発展できるように計画を立てる | | | | |
| | 主体性を持って子どもが活動できるように計画を立てる。 | | | | |
| 保育者の資質向上 | 日々反省を通し、また、現状を良としないで さらに向上ができる様 | | | | |
| | 様々な研修に参加し 研鑽していく。 | | | | |

6. 学校関係者の評価

幼稚園に伺うたび、園児一人ひとりが明るく元気に挨拶をしてくれ、温かい雰囲気の中で日々の園生活が営まれていると感じました。園長先生をはじめ、職員の皆様が日頃から園児に寄り添い、丁寧にご指導されているからこそ、明るく落ち着いた園の雰囲気が保たれているのだと感じております。

令和6年度は、行事の際に天候不良の日が重なることも多く、園児の体調面について心配する場面もありましたが、その都度、細やかな配慮をしていただき、大きな混乱もなく行事が実施されたことに感謝しております。また、令和6年度をもって終了となった「秋まつり」につきましても、あいにくの雨天ではありましたが、園児たちにとって心に残る大切な思い出になったことと思います。

園児たちの普段の小さな変化についても、口頭やお手紙を通じて保護者へ丁寧に伝えていただき、安心して園生活を見守ることができました。

令和6年度 後援会長 中島 啓

7. 財務状況

公認会計士監査より 適正に運営されていると考える。